

STOP THE ATTACKS CAMPAIGN NEWS 2021.8.7



「フィリピンに人権を！フィリピンにおける超法規的殺害(EJK)を食い止めよう！」
皆さまの優しさが、声をあげることによって弾圧され続ける被害者やその家族の希望です。

8月2日、新ホームページがオープン！

新URLは<https://sac-japan.org/>

皆さんからのカンパ、ご支援を得て制作を続けてきたSACの新しいホームページが遂に完成、8月2日に新しいサーバに移転してオープン。さらにエスカレートするフィリピンの人権侵害や日本政府の対応をウォッチ・ドッグ、見やすい新しいレイアウトでお伝えします。



「おはよう！フィリピンNEWS」に加えて

「資料庫」を新設。フィリピンにおける人権侵害に関連する国内外の事件、事象の年表には日々新しい事実が書き加えられ、過去から現在までの人権侵害の歴史を縦覧できます。

また、SACが発した重要な声明、行動などの関連資料も「資料庫」で見られます。

今後、さまざまなイベントを実施するためのベースとしてホームページを活用します。

菅首相がメッセージ 超法規的殺害には言及せず 現地からは批判も

菅義偉首相は7月28日、フィリピンとの国交正常化65年に際し、ビデオメッセージを発表しました。ドゥテルテ政権下の5年間で1兆円の官民投融資を実現したことを成果として強調する一方、国際機関から批判されている超法規的殺害については言及しませんでした。



写真】ビデオメッセージを発表した菅義偉首相／外務省のYoutubeから

ネグロス島を拠点にする全国砂糖労働者同盟(NFSW)のジョン・ミルトン・ロサンデ事務局長は取材に対して、「菅首相の発言は見当違いだと思う。あるいは、今ここで起きている事実を意図的に無視しているのかもしれない」と述べました。

ミダナオ島にある日本向けバナナの出荷工場を解雇された労働者で組織する統一労組ナマスファの委員長ポール・ジョン・ディノン氏は「菅首相の主張は、おかしな誤りだ。フィリピンの実情とは全く逆のことを言っている。ドゥテルテ氏は、大統領に就任して以来、言論の自由を侵害し、法律をそのための武器にし、民主主義を圧殺する独自の手法を用いている」と批判しました。

フィリピン人権ニュース

公的資金投入の多い地域で人権侵害が多発 KARAPATAN調査

【13日＝東京】フィリピン政府が地域の開発計画に投じる公的資金が多い地域ほど人権侵害の発生件数が上昇している。こんな関連性が、フィリピンの人権監視NGOカラパタン（KARAPATAN）の調査で明らかになった。クリスティーナ・パラバイ事務局長は「政府が過酷な人権侵害を放置するのであれば、その開発計画は何の解決にもならない」と批判した。

公的資金はバランガイ（行政の最小単位）に対する開発計画（BDP）を名目に「地域の共産党の武装闘争を終わらせるための国家タスクフォース」（NTF-ELCAC）の開発計画（BDP）予算から拠出されているという。

深刻な食糧難、フィリピンで430万人 5人に2人が不安視

【15日＝東京】国連食糧農業機関（FAO）が12日に発表した『2021年世界食料・栄養白書』によると、フィリピンで2018年から2020年の間に深刻な食糧難に陥った人たちは人口の約4%に当たる430万人いたことが明らかになった。深刻度で1段階下の「中程度または深刻な不安」を抱える人は4610万人で、5人に2人が食糧への不安を抱えているという。

新型コロナウイルスの感染拡大によって、市民に食糧が回らない状況は深刻化している。市民が食糧を分かち合う「地域の食料庫」運動の動きに対して、政府は「共産主義者」のレッテル貼りをしている事態も出ている。

「脱退後も国際刑事裁判所への協力は義務」 最高裁が判決

【23日＝東京】フィリピン最高裁は21日、国際刑事裁判所（ICC）から脱退したとしても、政府はICCの犯罪捜査の刑事手続きに協力する義務があるとの判決の全文を公表した。報道によると、最高裁判事15人から反対意見や少数意見は出なかったという。判決は3月に言い渡されていた。同日、大統領府は国際刑事裁判所への協力を改めて拒否する声明を出した。

最高裁は判決で「国際刑事裁判所に対して脱退に関する法的な文書を提出したとしても、いかなる刑事手続きからも解放されるものではない」とした。

ジャーナリストが銃で撃たれ死亡 セブのラジオ局付近で

【27日＝東京】22日午前9時頃、セブ市のN.バカルソ通りで、ジャーナリストのレナンテ・コルテスさん（45）がオートバイに乗った何者かに銃で胸を撃たれた。コルテスさんは近くのセブ・シティ・メディカル・センターに運ばれたが、約1時間後に死亡した。

国境なき記者団（RSF、本部・パリ）やジャーナリスト保護委員会（CPJ、本部・ニューヨーク）はフィリピン政府側に事件の究明を求める声明を発表した。

独立機関のフィリピン人権委員会は27日、正式な調査を開始していることを明らかにした。

ご寄付のお願い

Stop the Attacks campaign (SAC) の活動はみなさまのご支援により支えられています。

ご寄付には二つの方法があります。

毎月定期的な寄付

こちらから簡単にお手続き頂けます。
（Good Morning <https://community.campfire.jp/projects/view/428272>）



ゆうちょ口座への単発の寄付

銀行からのお振り込みの場合

店名：0九八

店番：098

種目：普通預金

口座番号：3830295

口座名：NGO Stop the Attack Campaign (エヌジーオー ストップ ザ アタック キャンペーン)

ゆうちょ銀行からお振り込みの場合

記号：10940

番号：38302951

口座名：NGO Stop the Attack Campaign (エヌジーオー ストップ ザ アタック キャンペーン)